

# ル・クレジオの群島： モロッコ、マスカレーニュ、メキシコ

時：2006年1月29日（日）10:30-18:00  
所：東京外国語大学研究講義棟1F 101教室

眼鏡をかけた男たち  
ではない国……

小説を書くのは  
犬であつて

それは誰も  
話をせず、

ぼくが逃亡する  
場所、

J.M.G. ル・クレジオ（作家）

津島佑子（作家）

四方田犬彦（批評家、明治学院大学教授）

中地義和（仏文学者、東京大学教授）

ディレクション：

今福龍太（文化人類学者、東京外国語大学教授）

朗読の祭り < BEKA >

本編 < ル・クレジオ >

モロッコ編 < 四方田犬彦 >

マスカレーニュ編 < 中地義和 >

メキシコ編 < 今福龍太 >

アイヌ特別編 < 津島佑子 >

祭りのあと < 全出演者 + 西谷修 + 星椋守之 >

問い合わせ

東京外国語大学大学院共同研究室

042-330-5439

archipelago@tufs.ac.jp

会場近辺に食事処が少ないため、昼食は各自  
持参されることをお勧めします。

主催：東京外国語大学大学院地域文化研究科（国際文化 / 国際協力講座）  
共催：科学研究費基盤研究「ポスト・グローバル化時代の欧米ユーラシア  
文化にみる規範と越境に関する総合的研究」

# ル・クレジオの群島：モロッコ、マスカレーニュ、メキシコ

2006年1月29日(日) 10:30-18:00 東京外国語大学研究講義棟1階 101教室

## La fête récitée et chantée

### 朗唱と歌の祭り

作家J.M.G.ル・クレジオを招き、シンポジウムを開催します。

ル・クレジオに縁のある3つの土地、モロッコ、マスカレーニュ、メキシコを巡ってル・クレジオ本人をはじめ、津島佑子、四方田犬彦、中地義和、今福龍太が島渡りしていきます。

それぞれの地勢と場所の固有の知性が具体的に浮かび上がるとき、私たちは近代の「国家の利害関係」が主導する世界化現象に対する、最も根源的な批判的思考が立ち上がる「風景」にこの東京で立ち会うことになるでしょう。

このシンポジウムは、学外の方や学生以外の方の参加も大歓迎です。参加無料。ただし、会場近辺に食事どころが少ないため、昼食は各自ご持参されることをお勧めします。皆さま、お誘いあわせの上、是非お越しく下さい。

フライヤ[PDF]

(自由に回覧、印刷、掲示してください)

問い合わせ

東京外国語大学大学院共同研究室

042-330-5439

archipelago@tufs.ac.jp

ジャン・マリ・ギュスターヴ・ル・クレジオ

**Jean Marie Gustave Le Clézio (1940- )**

一九四〇年、地中海岸のニース生まれ。父方はブルターニュからインド洋モーリシャス島に移住し

た家系で、19世紀初めに同島が英領となったとき英国籍に。母も同様の家系だが、パリ出身。両親はいとこ同士で、父親が医学を学んでいたロンドンで出会った。ニースで生まれたのは偶然だが、戦時下の幼時、米独双方によるこの町の破壊に強い印象をうけて育つ。ニース大学およびイギリスのブリストル大学で学ぶ。一九六三年、『調書』で作家としてデビュー。『発熱』（六五年）、『洪水』（六六年）、『物質的恍惚』（六七年）などの初期作品群を次々に発表し、ヌーヴォー・ロマン全盛期の首都からは距離を置いた独自の作家的地位を築く。ロートレアモン、アルトーやミショーへの関心から分かるとおり、当初は言語実験的色彩が濃厚だったが、文体はやがて簡素・平明に。むきだしの土地、陽光、砂漠、水、動植物のおりなす物質的世界に対する異常なまでに鋭敏な感受性に加えて、アメリカ先住民世界への深い共感を際立った特徴としている。七〇年から七四年にかけてパナマの密林に住むエンペラ族と暮らす。この経験から生まれた傑作エッセー『悪魔褓い』（七一年）以降、七〇年代後半からメキシコへの傾斜を深め、ミチョアカン大学や、プエブロ・インディアン土地であるアメリカのニューメキシコ大学で客員教授を務めつつ、ヨーロッパによる先住アメリカ文明に対する侵略と強奪という、人類史上最も大規模で残虐な破壊の歴史を考察。「チラム・パラムの書」『ミチョアカン報告』のフランス語訳（七六年、八四年）を試みる一方、『メキシコの夢』（八八年）に結実するエッセーを書きついだ。『歌の祭り』（九七年）はこの系列の集大成にあたり、端正な乾いた文体によって地水火風の運動に強く反応しつつ、失われた土着の宇宙とその残照を想起し、ヨーロッパによる他の諸世界の破壊の上にたつ現代文明への批判を、しずかに物語っている。

——管啓次郎、ル・クレジオ『歌の祭り』（岩波書店、2005年）の訳者による著者紹介より

主催：東京外国語大学大学院地域文化研究科(国際文化 / 国際協力講座)

協力：科学研究費基盤研究「ポスト・グローバル化時代の欧米ユーラシア文化に見る規範

と越境に関する総合的研究」